


東栄町 医療のあり方検討委員会

平成24年9月12日
新城市民病院 総合診療科
榛葉 誠

自己紹介

- ・ 榛葉 誠(しんば まこと)
- ・ 自治医科大学卒 医師 10年目
- ・ 中村日赤→東栄病院→中村日赤→東栄病院→新城市民病院 (2年毎)
- ・ 日赤では、血液内科をやっていたが・・・、現在は1.5日/週、総合診療科へ



新城市と東栄町

	新城市	東栄町
面積	499km ²	123.4km ²
人口	49824人	3852人
高齢化率	27.6%	45.5%

新城市民病院

- ・ 建物 地上8階+地下1階建
(入院 3階-5階・・・6階は閉鎖中)
- ・ 病床数 一般床201床+回復期 8床
(実際は計170床弱で運用)
- ・ 常勤医師数 20名 + 歯科医1名
- ・ 看護師数 126名

新城市民病院

診療科(常勤)

総合診療科(5(+1)名)、
呼吸器内科(1名)、神経内科(1名)
外科(4名)、泌尿器科(3名)
整形外科(1名)、脳神経外科(1名)
婦人科(1名)、皮膚科(1名)、放射線科(1名)
小児科(1名)、口腔外科(1名)

非常勤で、循環器内科、内分泌内科、呼吸器内科、
耳鼻科、眼科、整形外科、リハビリ

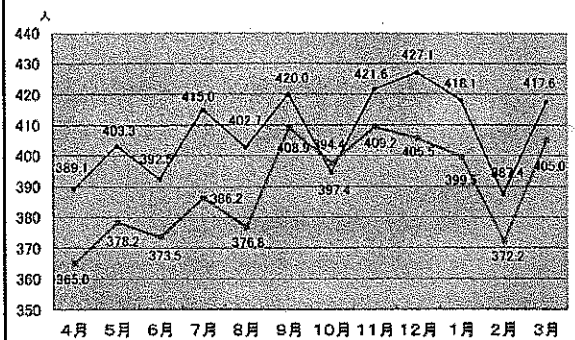
新城市民病院総合診療科

- ・ 平日は、初診外来1診、再診外来1診、
救急車の対応も
- ・ 毎日、振り返り(レビュー)を行う
- ・ 入院は計40-50名くらいを担当
- ・ 常に研修医を1名受け入れる
- ・ 平日の当直を受け持つ
- ・ 土日は当番を決め、緊急の対応を

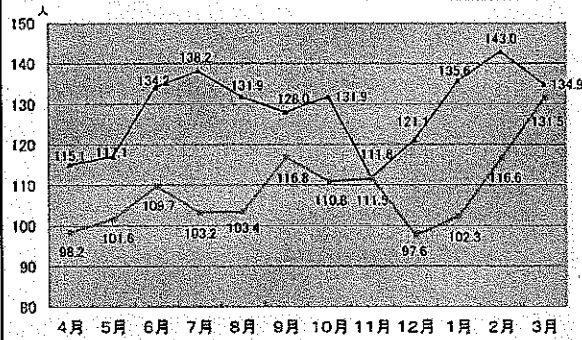
紹介患者数

	平成23年	平成22年
放射線科	1183	1310
総合診療科	993	588
外科	759	991
その他内科	715	665
整形外科	489	236
泌尿器科	484	506

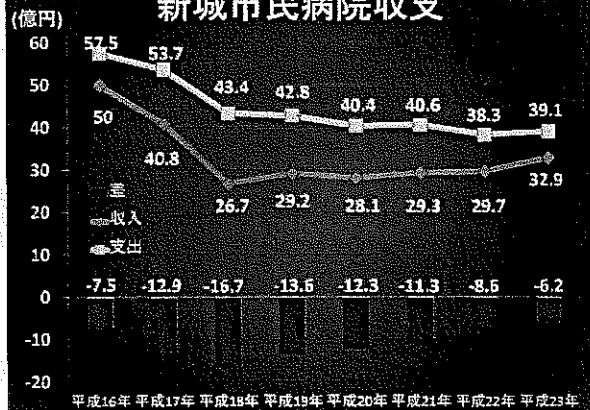
月別外来患者数(1日平均)



月別入院患者数(1日平均)



新城市民病院収支



救急患者の受入状況

1 診療時間内

基本的には、常勤医師のいる診療科
内科、外科、泌尿器科、整形外科等

2 診療時間外

平日夜間 総合診療科が対応

土曜日昼間

外科(腹痛、熱傷、蜂刺され、まむし)

泌尿器科

※土曜日夜間、日曜日、祝日は受入不可

平成23年度救急車受入状況(件数)

▶新城市消防署管内の救急車出動件数
年間 2,316件

1日平均 6.3件

▶新城市民病院の受入件数

22年度

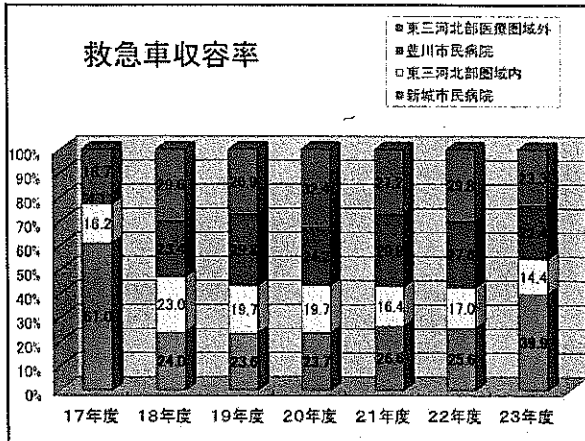
年間 533件

1日平均 1.5件

23年度

年間 924件

1日平均 2.5件



私が考える今後の総合診療科

- 今後数年は、人数の増加を見込めず。
(自治医大の派遣頼み)
- 当直ができるDrが4人いれば平日をカバー。6人いれば、土日対応も可能。
(人数的には)
- 救急、入院、教育が3本柱。

私が考える今後の総合診療科

- 子育てしながら、安心して働ける環境を作る
- 病院にとってメリットのある専門医資格なら、派遣して取ってきてもらう
(病院が医師を育てるシステム)
- 病院医療だけでなく、地域、家庭医療への興味を持つ医師の養成
→ 東栄病院、診療所へのローテート

私が考える奥三河の医療

- それぞれの町村で一次(かかりつけ)
- 新城市までで、二次(一般的な入院治療)
- 高度な医療が必要であれば、豊川・豊橋へ
- 基本的な医療の充実・徹底
- 生きるとは何か？ 健康とは何か？ 幸せとは何か？ を考える地域

医師の定着について考えること

- 「医師不足」を実感できなかったのが、メリット？ デメリット？
- 教育の視点が欠けていたのではないか
- 義務明け後、そのまま残るといふハードルの高さ
- 住む、生活するという視点(住居、子供の教育、家族へのサポート)をどうするか
- 行政との関係

東栄について考えること

- まず、首長のスタンス、ビジョンは？
公表されているのか？
- 人口減、医療従事者減をどう考える？
- 新城以外の市町村との協力は？
- 新城市民病院をどう利用する？
一つながりを持つためには、
魅力、アピールが必要